

## 2023年度診断評価等基準委員会 第1回委員会 議事録

開催日時：2023年6月30日（金）20時00分～20時30分

開催場所：Web開催

出席者（敬称略）：筑田博隆、高橋 淳、大和 雄、安藤 圭、福井充、  
飯塚陽一、関口美穂、加藤 壯、高見正成、本郷道生、川上 守、橋爪 洋、  
寒竹 司、河村直洋、高橋真治、渡辺 慶  
欠席者（敬称略）：金山雅弘、池上章太

### 議題案

1. 成人脊柱変形に対する包括的新評価票作成に向けた多施設前向き研究（プロジェクトリーダー：大和委員）の進捗状況

#### 研究1 質問項目の作成

進捗状況：

患者インタビュー施行（5施設）

術前成人変形患者（非手術例）8例

術後患者（手術施行例）12例

- ・インタビュー結果からワーキング・グループメンバーで以下の33質問項目を抽出した。
- ・ワーキング・グループメンバー投票により、研究2で用いる質問項目を選択予定。

研究2「質問項目の検証」には、患者群30例、術後30例、健常群30例が必要。

研究2に参加施設として、東京大学、信州大学、杏林大学、大阪市立総合医療センター、日本大学追加する予定

2. 胸髄症におけるアウトカム評価法の検証（プロジェクトリーダー：加藤委員）の進捗状況

現時点で9施設の多施設研究

ピュアな胸髄症が少ない

50 例の登録が必要

研究のデザインはシンプル

当初の計画より 6 か月程度遅れている。

3 月 6 日に JSSR の倫理審査に通った。

倫理審査はほとんどの施設で終了している。

初回登録できたのは 1 例のみ。

登録者が決まったら加藤先生にメールで登録日を報告する。

各施設で 2 カ月に 1 例確実に登録できれば研究を完遂できそう。

同僚・後輩にまめにリマインドをする。

### 3. LSS 疾患特異的アウトカム評価のための症状スケールと QOL スケール検証（プロジェクトリーダー：関口委員）

現在 191 例（昨年から 19 例増えた）。合計 320 例が必要

遠く及ばず

症例登録をお願いしたい

2024 年 3 月 31 日が研究期限

2 回くらい延長している。

・次回委員会日程について（高橋）

9 月頃にプロジェクトリーダーの会議

来年の 1 月頃に全体の会議を行う。